

学校の教育目標

ひろい心もち 豊かに表現できる子

【願う学校像】

「楽しい学校」

今日が満足で、明日が楽しみ = 笑顔・自信・やる気

温かく、明るく、元気で、安心・安全な学校だから、(児童が)行きたい、(教職員が)働きたい、(保護者が)通わせたいと思える学校

【昨年度までの成果○と課題●】

- 「思考力・判断力・表現力等」を重点とした時間と、「知識及び技能」を重点とした時間を、明確に区別して学ぶことで、一定の学び方が身に付き、主体的に臨む姿が増えてきた。
- 交流の時間を意図的に設けることで、自分の考えをもち進んで取り組む姿が増えてきた。
- 相手の反応を見て説明することや、根拠を明確にして考える力に弱さがある。
- 既習内容が十分に定着し授業で活用できる児童と、これまでの学習の定着が十分でない児童の二極化が見られる。

【めざす子どもの姿】

- これまでの学習をもとに、見通しをもって粘り強く課題解決に取り組む子。
- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、どの問題でも自分の考えをもつことができる子。
- 自分の考えを多様な表現方法で説明し、仲間と協働して、よりよい考え方を追究することができる子。
- 自己の成長を実感したり、新たな問いを見出して次時への意欲を高めたりする子。

【研究主題】

主体的に学び、仲間と高め合える子の育成

～深い学びを通して、できた・わかったという楽しさを実感できる授業づくり～

【研究仮説】

児童の実態に合わせ、単位時間ごとに「思考力・判断力・表現力等」を重点とした時間と、「知識及び技能」を重点とした時間を明確にした単元指導計画をたて、ねらいを達成するために児童が進んで学ぶことのできる指導・援助を行えば、深い学びにつながり、主体的に学び、仲間と高め合える子が育成できる。

【研究内容】

| (1)単元指導計画の工夫 | (2)主体的に学ぶための指導・援助の工夫 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■「思考力・判断力・表現力等」を重点とした時間と、「知識及び技能」を重点とした時間を明確にした単元指導計画をたてる ■単元における効果的なICTを活用場面の位置づけ | <ul style="list-style-type: none"> ■単位時間ごとのねらいを達成するために児童が進んで学ぶことのできる指導・援助 ○「思考力・判断力・表現力等」を習得するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えの多様な表現方法(発表ノート・デジタル教科書・ノート・プリントなど) ・交流の仕方の使い分け(ペア・スクランブル・全体交流など) ○「知識及び技能」を習得するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントカード(発表ノート・デジタル教科書など) ・タブレット等を用いた習熟(webラーニング・ドリルパーク・プリントなど) ○自己の成長を実感する工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを試す評価問題 ・振り返りの場の位置づけ |

【基盤となる日常実践】

学習規律づくり 学習環境づくり 温かな学級集団づくり 基礎・基本の定着 家庭学習の充実